

本業を通じた貢献

# 生産技術・生産効率の向上

製造本部長 おがわ ともぞう  
小川 智三より

## グローバルでの連携や自動化などにより生産効率向上を図ります

当社グループでは、製造の基礎となる「リケンスタンダード」<sup>※</sup>について、グローバルの各拠点での理解をさらに深め、製造/品質の向上を図っていくとともに、製造における課題をグローバルで共有し、グループ全体で解決を目指す取り組みを強化しています。

国内では自動化設備の導入、設備故障の予兆管理システムの導入、工場ユーティリティ設備の再構築の検討を積極的に進めています。また、当社の製造の鍵となるプロセスについては、これまで以上の高品質・低コストの製品が生み出せるよう、産産/産学連携による生産技術の深掘り、PI（プロセス・インフォマティクス）を用いた最適生産条件確立のスピードアップを実行していきます。

※ リケンスタンダード：当社グループの製造におけるグローバルプロセス指針。海外への事業拡大に伴い、従来の国内を主眼とした製造プロセス指針からグローバルに対応した製造プロセス指針に改定したものの。



## 生産情報の一元管理とBIツールによる可視化

グループの製造における課題や情報を共有し、更なる全体最適を目指す活動に取り組んでいます。

オープンなネットワーク基盤とIoT活用に適したデータ構造のプラットフォームを整備し、国内をはじめ、グローバルでの生産状況や作業実績、生産設備が出力するログなど、生産現場に存在する多種多様かつ膨大なデータを収集・管理しています。

生産情報についての必要な指標データの一元管理を実現し、BI（ビジネスインテリジェンス）ツールを活用して常時可視化することで、生産管理者が状況の把握を迅速に行える体制を構築しました。また、データの一元管理により、帳票類の統一化、報告書作成の迅速化が可能となりました。

今後は、設計と生産現場のデータ連携によって設計・生産業務の最適化の実現、そしてデジタル化により熟練者の知見をノウハウ化した技能継承も推進していきます。

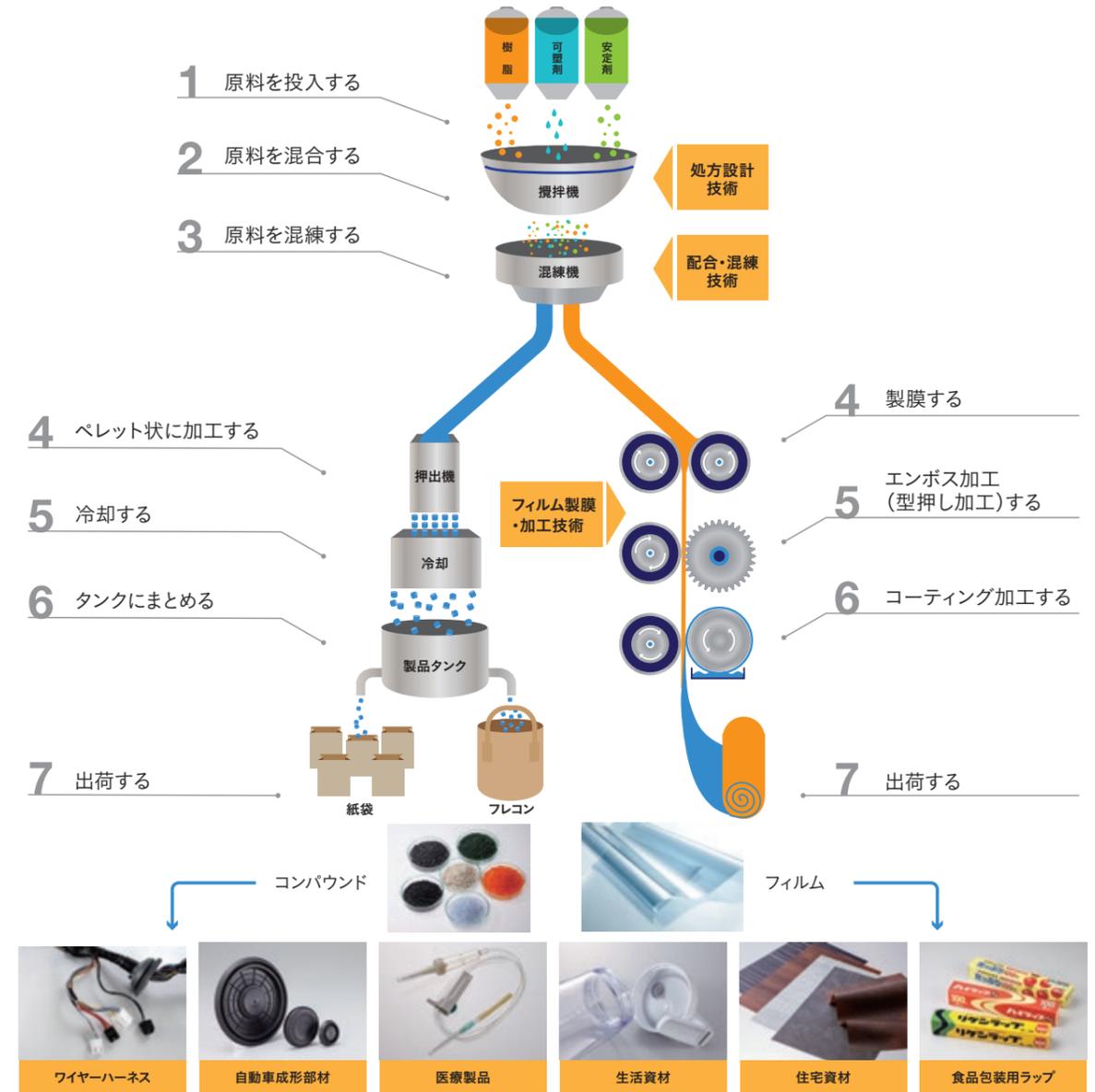


## 配合・混練技術

複数素材のモルフロジー制御、反応改質技術により、ますます広がる高機能材料へのニーズに対応します。お客様での加工適性を高めるため、最適な混練状態にてコンパウンドを提供しています。また、当社が長年培ってきた技術を活かし、最適な成形加工条件やお客様での成形不具合の改善提案をしています。これらの生産加工技術は、海外連結子会社の生産拠点でも継承されています。

## フィルム製膜・加工技術

当社の熱可塑性樹脂の製膜技術は、フィルム表面の均質性や品質安定性が優れており、世界でも通用する技術力を有しています。また、多様なラミネート加工技術により、特性の違うフィルムをラミネートすることができます。フィルムの表面改質のためコーティング加工も行っており、汎用レベルから精密塗工までの塗工技術を保有しています。これらのフィルム製膜、ラミネート、塗工技術の総合的 추구により、付加価値の高い機能性フィルムを提供しています。



## 製造担当の声

コンパウンド製造部 かたおか しんや  
片岡 慎也

BI（ビジネスインテリジェンス）ツールの活用により、今までできなかった複数情報をまとめて検索することが可能になり、情報の解析に要する日々の作業時間の短縮を図ることができています。

生産状況のほか、品質管理情報の閲覧も可能なため、生産前段階での製造時の注意点や過去のトラブル事例を参考にした再発防止策の検討・立案ができ、工程異常の削減につながっています。

今後もBIツールを更なる改善活動に活用していきたいと思っています。

